

令和4年度版 『学力向上推進プロジェクト』【基礎学力等保障内容一覧】～全国、埼玉県学力学習状況調査の結果考察を踏まえて～

※印…本校の実態考察をもとに重点を置きたい点

行田市立南河原小学校

項目		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	
学習内容	①漢字	1年生の漢字を正確に読み、8割以上書くことができる。	2年生までの漢字を正確に読み、8割以上書くことができる。	3年生までの漢字を正確に読み、8割以上書くことができる。	4年生までの漢字を正確に読み、8割以上書くことができる。	5年生までの漢字を正確に読み、8割以上書くことができる。	6年生までの漢字を正確に読み、8割以上書くことができる。	
	②音読	1分間で150字程度の文章を読むことができる。	1分間で200字程度の文章を読むことができる。	1分間で250字程度の文章を読むことができる。	1分間で300字程度の文章を読むことができる。	1分間で300字程度の文章を読むことができる。	1分間で300字程度の文章を読むことができる。	
		つまずかずに読める。	句読点に気を付け、つまずかずに読める。	句読点に気を付け、つまずかずに読める。会話を工夫して読める。	句読点に気を付け、つまずかずに読める。会話を登場人物の気持ちに合わせて読める。	聞き取りやすい速さで、つまずかずに読める。地の分、会話を意識して読める。	聞き取りやすい速さで、つまずかずに読める。心情を考えて工夫して読める。	
	※③ミニ作文	伝えたいことが分かるように50文字以上の作文を書くことができる、	伝えたいことが分かるように70文字以上の作文を書くことができる、	主語述語をはっきりとさせ、伝えたいことが分かるように100文字以上の作文を書くことができる。	主語述語をはっきりとさせ、伝えたいことが分かるように120文字以上の作文を書くことができる。	伝えたい内容がよく分かるように、表現を工夫して150文字以上の作文を書くことができる。	伝えたい内容がよく分かるように、表現を工夫して200文字以上の作文を書くことができる。	
	※④読解力	書かれている内容を正しく読み取り、他者に伝えることができる。			書かれている内容を正しく読み取り、内容を要約して他者に伝えることができる。		書かれている内容を正しく読み取り、要約した内容に自分の考えを加えて他者に伝えることができる。	
	⑤計算	くり上がりのあるたし算、くり下がりのあるひき算ができる。【反復練習】	九九を正確に言える。【反復練習】	かけ算の筆算ができる。【反復練習】	四則計算の基本を身につけ、わり算の筆算ができる。【反復練習】	小数の四則計算ができる。【反復練習】	小数・分数の四則計算ができる。【反復練習】	
	⑥学習用具の使い方	鉛筆を正しく持つことができる。	定規を使って直線をかきことができる。	コンパスで長さ（半径）を測り取り、円をかきことができる。	分度器を正しく使い、角度を読み取ることができる。	三角定規とコンパスで合同な図形をかきことができる。	定規とコンパス、分度器を使って、拡大図や縮図をかきことができる。	
	⑦基礎体力	基礎体力の向上を目指して、朝自主マラソンで3周以上走ることができる。			基礎体力の向上を目指して、朝自主マラソンで4周以上走ることができる。		基礎体力の向上を目指して、朝自主マラソンで5周以上走ることができる。	
学習方法	①姿勢	「グー・ピタ・ピン」身体と机の間はこぶし一つ分あける。両足を床につけ、腰を立てる。						
	②聞き方	大事なことを落とさないように聞くことができる。			話の中心に気をつけて聞き、質問をしたり感想を述べたりすることができる。		話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめることができる。	
	③話し方	姿勢や口形、声の大きさや速さなどに注意して、はっきりした発音で話すことができる。			相手を見たり、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意したりして話すことができる。		目的や意図に応じて、事柄が伝わるように工夫しながら、場に応じた言葉遣いで話すことができる。	
	※④ノート	基本的なノートの項目を抑え、板書と同じようにノートを作ることができる。間違いは赤鉛筆で訂正し学習の記録を残す。			自分の考えを書いたり、学習の振り返りを書いたりして、ノートをまとめることができる。間違いは赤鉛筆で訂正し学習の記録を残す。		自分の考えを書いたり、目的に応じた資料を取り入れたりして、学習したことが分かるノート作りをすることができる。間違いは赤鉛筆で訂正し学習の記録を残す。	
家庭学習	20分程度の家庭学習に取り組むことができる。 (10分程度の宿題と10分程度の自主学習)	30分程度の家庭学習に取り組むことができる。 (10分程度の宿題と20分程度の自主学習)	40分程度の家庭学習に取り組むことができる。 (10分程度の宿題と30分程度の自主学習)	50分程度の家庭学習に取り組むことができる。 (10分程度の宿題と40分程度の自主学習)	60分程度の家庭学習に取り組むことができる。 (10分程度の宿題と50分程度の自主学習)	70分程度の家庭学習に取り組むことができる。 (10分程度の宿題と60分程度の自主学習)		